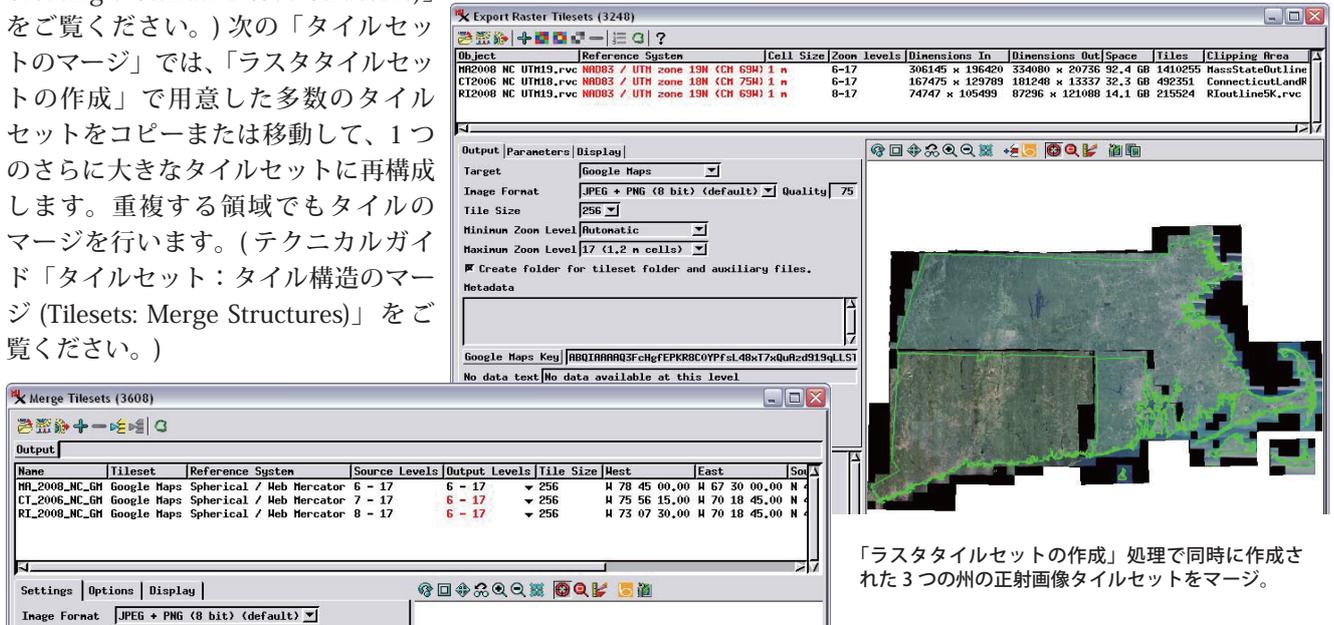


# 巨大なタイルセットの再構成

「ラスタタイルセットの作成」および「タイルセットのマージ」処理は連携して機能するように設計されており、非常に大きなタイルセットを効率良く作成できます。「ラスタタイルセットの作成」では、自分のシステムのマルチコアや TNTmips のジョブ処理システムを最大限活用して、多数の正射画像や他のラスタを Google マップのタイルオーバーレイや Google Earth のスーパーオーバーレイ、Bing Maps のカスタムタイルレイヤ、NASA の World Wind 用タイルレイヤおよび TNT のタイルセットへ変換します。(テクニカルガイド「タイルセット：標準ウェブタイル構造の作成 (Tilesets: Creating a Standard Web Structure)」をご覧ください。) 次の「タイルセットのマージ」では、「ラスタタイルセットの作成」で用意した多数のタイルセットをコピーまたは移動して、1つのさらに大きなタイルセットに再構成します。重複する領域でもタイルのマージを行います。(テクニカルガイド「タイルセット：タイル構造のマージ (Tilesets: Merge Structures)」をご覧ください。)



「ラスタタイルセットの作成」処理で同時に作成された3つの州の正射画像タイルセットをマージ。

## ジョブ処理

「ラスタタイルセットの作成」処理では、TNTmipsの「ジョブ処理システム」を使うことによりコンピュータのマルチコアプロセッサが備えた同時処理能力を生かすことができます。タイルセットの作成作業を同時に多数設定することができ、[ジョブを待ち行列に入れる (Queue Jobs)] アイコンを使って各タイルセットの変換を別々のジョブとして待ち行列に入れたり、[ジョブの保存 (Save Jobs)] アイコンを使ってジョブを後で実行するように止めておくことができます。TNTmipsのジョブマネージャは、同時に実行できるジョブ数を設定したり、手動でジョブリストを運用管理したり、ジョブの実行を毎晩、または毎週末のように定期的に行うようスケジューリングしたりすることが可能です。ジョブ処理については、テクニカルガイド「システム:TNTのジョブ処理システム (TNT Job Processing System)」をご覧ください。

## 「タイルセットの作成とマージ」と「自動モザイク」

TNTmipsの「自動モザイク」処理を使うと、大きなタイルセットを複数の入力画像から直接作成することもできます。画像が重複する領域をどのように処理するかを正確にコントロールする機能が追加されています。しかし、非常に大きなタイルセットを多数の入力画像から作成するのは、「タイルセットの作成」・「マージ」の2ステップを使った場合に比べて時間がかかります。モザイクは単一のプロセスとして実行され、入力画像が1個ずつ処理されるためです。逆に、「ラスタタイルセットの作成」でジョブ処理を用いることにより、2、4、8個...の画像を同時に処理することができます。2ステップ処理は、地球規模のタイルセットのように、巨大なタイルセットを大量の画像から処理する場合、非常に高速に処理できます。

